



羅臼町議会だより



しれとこ

第3回定例議会	2～3
一般質問	4～7
羅臼高校生の一日議会	8～9
Zoom up! 各常任委員会行政視察	10～11
敬老会・高齢者のつどい・議会の動き	12

令和元年

第**161**号

11月25日



羅臼高校生の一日議会

令和元年 第3回定例会

去る9月12日、令和元年第3回定例会が開催され、令和元年度一般会計、国保診療所特別会計の専決処分報告や平成30年度決算状況の報告、令和元年度一般会計及び各特別会計補正予算等18件が審議され、原案通り可決された。…※数字は万円未満四捨五入

専決 処分

令和元年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **591万円追加** 総額 **45億3,037万円**

衛生費 国保診療所施設温水管破損による補修経費

令和元年度羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

補正額 **591万円追加** 総額 **1億9,867万円**

議案

令和元年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **4,406万円追加** 総額 **45億7,444万円**

総務費	一般行政に要する経費	328万円
	コミュニティセンター管理に要する経費	337万円
	町有バスに要する経費	32万円
	地域振興に要する経費	8万円
	住民基本台帳ネットワークシステムに要する経費	△152万円
民生費	プレミアム付商品券発行事業に要する経費	732万円
	障がい者自立支援事業に要する経費	125万円
	幼児教育・保育無償化に要する経費	262万円
衛生費	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	80万円
	国保診療所事業特別会計繰出金	620万円
農林水産業費	水産振興等に要する経費	29万円
商工費	その他商工労働振興に要する経費	371万円
	商工振興に係る共同利用施設整備に要する経費	690万円
	羅臼温泉集団施設地区整備に要する経費	260万円
教育費	教育コンピュータに要する経費	132万円
	教職員住宅の管理に要する経費	40万円
職員費	市町村職員退職手当組合納付金	509万円

議案

令和元年度羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

補正額 **662万円追加** 総額 **10億5,270万円**

総務費 その他国保一般事務に要する経費 662万円

議案

令和元年度羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

補正額 **711万円追加** 総額 **4億7,599万円**

諸支出金 国庫負担金等返還金 711万円

議案

令和元年度羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

補正額 **620万円追加** 総額 **2億487万円**

総務費 医療再生に要する経費 620万円

議案

令和元年度羅臼町水道事業会計補正予算

補正額 **183万円追加** 総額 **2億664万円**

水道事業費用 受託工事費 183万円

計画の変更

・羅臼町過疎地域自立促進市町村計画の変更
 ※商店街振興のために必要な共同利用施設の整備事業の追加

議員発議関係

(一) 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

報告

(一) 平成三十年度決算に基づく健全化判断比率の報告について
 ※羅臼町の平成三十年度決算については、全て健全化となっている。

(二) 平成三十年度決算に基づく資金不足比率の報告について
 ※資金不足比率は、公立病院や下水道などの公営企業の資金不足を料金収入の規模と比較するものですが、羅臼町の平成三十年度決算については、良好となっている。

継続費精算報告書 単位：円

事業名	実		績		
	支出済額	左の財源内訳			一般財源
		特定財源	その他		
		国道支出金	地方債	その他	
教職員住宅建築事業	46,407,600	20,935,000	12,400,000	7,532,200	5,540,400
知床未来中学校建設事業	2,065,834,446	649,519,000	1,265,100,000	147,306,141	3,909,305
知床未来中学校外構事業	439,266,000	54,200,000	217,700,000	104,874,400	62,491,600

規約の変更

(一) 羅臼町印鑑条例の一部改正
 ※印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に伴う条例改正

(二) 羅臼町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正
 ※コミュニティセンターの「管理者」を「町長」に改める改正

(三) 羅臼町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
 ※十月一日から開始となる幼児教育・保育無償化に伴う条例の一部改正

(四) 羅臼町放課後児童健全育

成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
 ※放課後児童支援員認定資格研修が指定都市でもできることによる条例の改正

(五) 羅臼町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

町長の行政報告から

(一) 紺綬褒章の受章について
 四ツ屋養吉氏（松法町）

は、公益のため多額の私財を寄付され、地域貢献が認められての受賞となった。
 (二) 全国表彰の受賞について
 ・全国市町村教育委員会連合会教育功労者表彰に川越優英知氏（麻布町）が受賞

・公益社団法人全国スポーツ推進委員連合からスポーツ推進委員功労者表彰に宮腰實氏（栄町）が受賞

(三) 火災の発生について
 八月二十一日、富士見町の店舗兼住宅から出火。無火災が「五四七日」でストップする。

(四) ヒゲマ出没の状況について
 当町のヒゲマ情報は、八月末で昨年より四十件増と

なり、犬への被害も発生している。箱罟設置や周辺パトロールの強化等を行っているが、住民の皆様には引き続き厳戒対応を願います。

(五) 海洋深層水取水量の低下について
 取水から十四年を迎え、近年取水量が著しくなっている。減少の原因究明に向けて、北海道開発局に要請していく。

人事案件

・羅臼町教育委員会の教育長の任命に同意を求める



和田 宏一 氏
 (任期) 令和元年10月1日～令和4年9月30日まで

・羅臼町教育委員会の委員の任命に同意を求める



萬屋志都子 氏
 (任期) 令和元年10月1日～令和5年9月30日まで

・人権擁護委員の候補者の推薦に同意を求める

渡辺 憲爾 氏
 (任期) 令和二年一月一日～令和四年十二月三十一日まで

行政の考えを問う

4人の議員による15件の質問が提出されました。

令和元年

第3回定例議会

一般質問

田中議員

地域を支える産業の活性化について

町長 関係機関、関係団体と協議・調整を重ね産業振興に努めていきます

田中 良議員



湊屋 町長

④ 産業振興審議会・産業プロジェクトの現在の進捗状況は、どのようなになっているのか。

① 「羅臼町蓄養計画」を本年度中の策定に取り組んでいるところですか。羅臼

質問

「地域を支える産業の活性化について」町長の考え方を伺います。

① 漁業の振興について「つくる漁業」・「育てる漁業」の支援について現在の取り組みと現状についてどのようになっているのか。

② 商工業の振興について「ふるさと納税」や「特産品のPR」の他に新しい施策は考えているのか。
③ 観光の振興について、景観整備・環境整備計画等



模事業者、特に水産加工業者を対象とした、道外

水産物卸売業者等との商談会を商工会が主催する予定であります。羅臼ブランドを更に道外にPRできる良い機会と捉え、歩調を合わせたいと思います。商工会等、関係団体が主体的に、或いは町との連携・協力の中で、

新たなアイデアが生まれ、関係団体相互の強みを生かして協働で取り組みることによってまち振興の推進力につながっていくと考えています。

③ 湯ノ沢温泉地区の景観・環境整備につきましては、廃屋撤去や外国人誘導看

板整備などの「羅臼温泉集団施設地区上質化計画」の中で今年度は、「外国人誘導看板」を湯ノ沢町の主要施設五箇所に設置してまいります。今後は「旧知床観光ホテル」の解体と新たな宿泊施設の建設に向けて、事業者や環境省と協議を重ね、確実に事業を進めてまいります。

④ 羅臼町産業振興基本条例に基づき、羅臼町認証店制度、地理的表示保護制度登録、酪農ヘルパー事業について、より良い形で取り組めるよう、関係機関と調整を図っているところですか。

各産業における取り組みについて、関係機関、関係団体と協議・調整を重ね、産業振興に努めます。

田中議員その他の質問

・ 公共施設のマネジメントについて
・ 人口減少対策について

議員本坂
防災対策・災害時の備蓄の状況

長全町民の10%を災害発生から三日間カバー
町できる備蓄を進めている

坂本 志郎 議員



料水五〇〇mlペットボトル
四、〇一九本、そのほか毛
布やオムツ等の生活必需品
及び発電機や段ボールベッ
ド等の資機材を、主に地区
毎の避難施設七カ所へ分散
備蓄しています。

質問

大きな被害をもたらした
胆振東部地震から一年が過
ぎました。

明日発生するかもしれな
い災害に対応するため、備
蓄を含め準備を怠る事の無
いよう対策が必要と考えま
すが。

湊屋 町長

当町の備蓄の現状は、食
糧のうち主食となる調理不
要食、アルファ米、パンの
缶詰、三、〇五七食分、飲

質問

災害対策のもっとも重要
な拠点となる役場の非常用
電源は、七十二時間分の燃
料が備蓄されているのか。

湊屋 町長

役場庁舎の非常用電源七
十二時間分の燃料備蓄につ
いては、当初、庁舎屋外へ
備蓄用燃料タンクの設置を
検討したが、火災予防条例
の設置基準により設置でき
ず、国の求める七十二時間
分の燃料確保に向けて羅臼
消防署と協議し早急に備蓄



できるよう進めていきます。

質問

厳冬の避難対策の考え
方は。

湊屋 町長

具体的な対策としては、
積雪、寒冷期における適切
な避難勧告、指示ができる
体制づくりや、災害発生時
における避難・救出・給
水・食糧・燃料供給及び防
疫等に万全の措置を講ずる



他、除雪体制の強化による
道路交通の確保、被災者、
避難者に対する防寒用品、
避難所における電源を要し
ない暖房器具、燃料の備蓄
等に努めます。

現状の対策としては避難
場所の除雪及び六カ所の冬
期避難施設(※)に発電機、
石油ストーブ、毛布、アル
ミブランケット等を備蓄し
ているが、さらなる厳冬期
対策を進めるため、冬期間
における訓練に向けて実施
内容や方法について検討し
ていきます。

※冬の避難施設

- ① 峯浜町コミュニティセン
ター
- ② 体験実習館
- ③ 春松小学校
- ④ 知床未来中学校
- ⑤ 羅臼小学校
- ⑥ 旧知田別小中学校

坂本議員その他の質問

- ・消費増税税に関して
- ・体験実習館の活用に関
して
- ・住宅リフォーム制度につ
いて

高島議員

一校一園化の策定について

町長 令和四年度から一校一園化については、
行政運営上の判断

高島 讓二議員



質問

令和元年度町長行政執行方針また令和元年度教育行政執行方針において、少子化による児童減少に伴う小学校一校化、幼稚園一園化を令和四年度に実現出来るよう進める。または実現します。と述べております。一校一園化の理由として児童数の減少を示されていますが、児童にとっての学校環境の観点を中心に捉え「地域とともにある学校」の視点を踏まえ、保護者・

地域の住民と密にコミュニケーションをとりながら丁寧な議論を重ねて進めていく必要があると考えます。そこで、子供達にとっての学校環境面、保護者・地域住民にとって、また、町の財政面において一校一園化のメリット・デメリットについてお聞きします。

来年から始まる「新学習指導要領」について、保護者・地域住民にも説明すべきと考えます。

湊屋 町長

一校一園化については、町民の意見を吸い上げていく。統合にあたっては、数年間は町独自のライン（一クラスの児童数及び教員数）を考えている。先生が足りなければ町で補う。そのためには一校に



羅臼幼稚園

なった方が色々な面で体制がとれる。

教育長

メリットは学力や人間関係、スポーツなどで切磋琢磨する機会が増えることや、幼小中高が協力・連携をさらに強化することで、計画的でより効果的な教育が行える。デメリットは、通学距離や地域から学校がなくなることへの不安などがあると考える。

しっかりと地域住民と対話を重ね、令和四年度四月一日の一校一園化に向けたスケジュール通りに進める。今までの統合を見ても財政的な圧縮効果はない。

公民館の再建について

高島議員

町長

春松小学校を羅臼町公民館として利用したい

質問

平成三十一年度三月の耐震診断の結果、公民館が「倒壊の恐れあり」と診断され、使用不能となりました。

町民にとって公民館は実際の生活に即する教育や学術文化に関する事業を行い、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る役割を



春松小学校

持っています。且つ、街の中心部にあるべきだと思います。公民館の再建について見解をお聞きます。

湊屋 町長

一校一園化と関連する部分だが、春松小学校が空き施設になった時に、羅臼町公民館として利用したい。財政面での課題は当然あるが、中心部に求めることは場所的にも不可能である。今現在では、新たに建てることは考えていない。

井上議員

議員のなり手不足と議員報酬について

町長 町長として、意見を申し上げる事は適切ではないと思う

井上 章二議員



も考慮すべきとの報告書もまとめられている。

無投票になった一九一町
村議会の平均報酬は一九五
四九五円。選挙戦となった
七三六の議会は二二七、四
四六円である。

我が町の平成三十年年度の
議員活動は、定例会、委員
会、視察研修会等を含め約

質問

NHKのアンケート調査
によると、年代や性別に関
係なく、とにかく数多く見
られたのは、町村議員の報
酬が低く、若い子育て世代
などは出たくても生活の事
を考えると、子供に充分な
教育を受けさせられる状況
ではなく、充分な報酬を保
障されないと若手議員の進
出は望めない。

全国町村議会議長会の有
識者検討会は、報酬の低さ
がなり手不足の原因になっ
ていると指摘、報酬の増額

も考慮すべきとの報告書も
まとめられている。
無投票になった一九一町
村議会の平均報酬は一九五
四九五円。選挙戦となった
七三六の議会は二二七、四
四六円である。
我が町の平成三十年年度の
議員活動は、定例会、委員
会、視察研修会等を含め約
八十二日、その他に議員と
しての会議等の出席で十五
日、議案や質問通告に対す
る調査に十く十二日を費や
し、合計約一二六日を要し
ています。
役場職員の平均勤務日数
は二七〇〜二八〇日、議員
活動日数は職員と比較して
約四十五%です。
町長はこれらの状況を熟
慮すると若い議員のなり手
不足を解消するための方策
と、現在の議員報酬につい
て妥当と思うか、ご意見を

月額報酬		期末手当	支給日	差引支給額
148,000	-	148,000	令和元年10月18日	129,600
所得税		手当所得税	議員会費	控除計
8,400	-	10,000	-	18,400
振込口座				

町議会議員報酬の明細書

伺いたい。

湊屋 町長

議員の報酬については、
これまで数度に亘り見直し
を行ってきており、平成十
七年四月に行われた改定が
現在の報酬になっておりま
す。

定数についても、平成十
一年に十六名、平成十九年
に十名と削減をしている。

いずれにおいても、議会
における発議により見直し
が行われ、質問に対して町
長という立場で意見を申し
上げる事は適切ではないと

思われますので、ご理解い
ただきたい。

観光振興対策とDMO脱退による影響、観光振興への懸念は

町もDMOの機能や広域的
観光連携の重要性を認識し
ている

井上議員

町長

質問

道経済部、観光局が観光
の取り組み、観光施策につ
いて、観光で稼ぐ為の手引
書が示され、観光消費の拡
大や地域経済への波及を目
指し、データに基づき観光
施策を作り上げる七つのス
テップ等が示され、国が推
奨するエビデンスに基づく
戦略の策定、観光消費によ
る経済波及効果の分析、デー
タ分析、DMOが戦略を策
定することを道は提唱して
いますが、脱退によるデー
タ分析はしないのか。

湊屋 町長

今年に入って観光協会が
DMOから退会を表明した
との話がありました。今
後新たな企画開発、デー
タ分析、観光戦略づくりが必
要であり、DMOの機能や
広域観光連携の重要性は認
識しており、これまでの考
えに変化はない。

羅臼町や観光協会が加盟
する根室観光連盟が精力的
に推進に取り組み、今年度
に北海道観光振興機構の補
助事業採択を受け、空港を
拠点とした二次交通整備と
周遊促進事業を展開、ウェ
ブサイトの制作、ロゴマー
ク・キャッチコピーの制作、
その他知床根室のブランド
開発や、ウェブサイトやパ
ンフレットの英語翻訳、夏
素材映像の制作等を手掛け
る事になっている。

今後、積極的に推進する。

DMOとは：

観光地域づくりを
実現するための戦略を考
える組織

羅臼高校生の一日議会

10月21日開催

初めてとなる羅臼高校生の一日議会が、10月21日議会議場で開催された。

高校2年生33名は、議長役安達冷成君のもと6グループに分かれ、議会議員がアドバイザーとなり、町理事者に一般質問14件を行った。質問者と質問内容、理事者からの答弁内容は次の通りです。



質問
町の暮らしについて
人口の減少を止めるための対策と今後の取り組みは。

質問者
班 長 中村 花帆
副班長 川口 颯太
班 員 小川真優佳

〃 〃 長川 麟
〃 〃 菅原 尚弥

町長答弁
基幹産業の漁業を中心に「羅臼町蓄養計画」を策定しながら水産業の安定化を目指します。

将来的には活気ある羅臼町に戻り、魅力ある町で働き、子育てし、安心・安全で充実した生活が送れるよう、機会があれば高校生のみなさんとも意見交換をしていきたい。

質問
一. 動植物のアピールについて
二. 漁業の減少対策について
三. 羅臼町のホームページについて

質問者
班 長 村田 涼綺
副班長 高森 純也
班 員 小林 飛友

〃 〃 釣 玲緒菜
〃 〃 三河 愛奈

町長答弁

一. 羅臼町では、野生動物等を見学するツアーにより多くの観光客が訪れています。シャチ、クジラを中心に積極的にPRしていきます。

二. 「昆布」「ウニ」の生産者が減少しています。漁業の減少の原因として資源量の減少と、漁業に従事する期間の問題があげられます。漁業権の見直しや、年間を通して働ける操業方法の見直しなどを検討する必要があります。

〃 〃 天 神 駿哉

三. 羅臼町の公式ホームページについては、知りたい情報が探しづらいとの指摘もあり、本年度中にホームページのリニューアルを進めていきます。高校生の皆さんもSNSのフォローワーになって、町を盛り上げて下さい。

質問者
班 長 福山 想生
副班長 前田 彩華
班 員 大友 一希

〃 〃 山 下 紗季
〃 〃 天 神 駿哉



質問

一. お祭りの規模が小さくなってきている。新しい行事を考えているのか。

二. 町民体育館に代わる場所の確保についての考えは。

質問者

〃 〃 山 下 紗季
〃 〃 天 神 駿哉

町長答弁
一. 人口減少でお祭りの協力者も減少しています。お祭りを将来に向けて充実させるために、斬新なアイデアや変更も考えていく必要があります。皆さんから今日提案のあった季節ごとのイベント等についても検討していきます。

教育長答弁
二. 町民体育館は、三月に実施した耐震診断により、耐震工事が必要となり、令和三年四月にはオープンする予定です。その間、各学校の体育施設等の利用を図りながら場所の確保



〃 〃 天 神 駿哉

保をしていきます。町民の皆さんには、しばらくの間我慢していただくようお願い致します。

質問

今後の町民体育館の使用について

一、以前、春松小学校を町民体育館として使用するとの話が出ていましたが、今の町民体育館はどのようになるのか。

二、体に障害を抱える人たちが、気軽に利用出来る場所に来れないのか。

質問者

班 長 三河 良輔
副班長 森 皇晴
班 員 大野 陽向

〃 水落 桃子
〃 水落 美結

町長答弁

一、春松小学校を町民体育館として使用する計画は無い。現在、一校一園化に向けて、空き施設となった場合には、公民館機能を持たせた施設として検討する予定です。

二、今回改修する町民体育

館には、二階にアリーナがあり、程度にもよりますが一般的に利用しやすい環境ではありません。

空き教室の一般開放で対応しています。各学校のアリーナは一階にあり、スロープ等もついております。それぞれの体の状況に応じて、事前に利用団体登録を申請していただき、学校開放を活用してほしいと考えています。



質問

一、水揚げ対策について、稚魚を育て、川に放流することで水揚げ減少対策になると思うが、いかがですか。

二、産業活性化について具体的にとどのような事をしているのか。

三、冬期災害対策はどのようなものと考えているのか。

質問者

他四件

班 長 吉田 遥稀
副班長 本見 一葉
班 員 四十物 遥

〃 太田 晴賀
〃 藤本ゆめみ
〃 川島 美奈

町長答弁

一、漁業資源が急激に少なくなっている。稚魚を育て放流することは大変重要と考えている。しかし、地球温暖化や自然環境の変化、卵から稚魚へ、放流等色々な問題から事業の成果が難しく感じています。今年度「羅臼町蓄養計画」を策定し、つくり育てる漁業を推進していきます。

二、大きな取り組みの一つとして「ふるさと納税」があります。水産物の付加価値を高めた加工品の

開発など、地域の経済に大きく貢献しています。より多くの羅臼ファン獲得等により、羅臼が元気になる事業として取り組んでいきます。

三、冬期間の災害発生の具

体的な取り組みとして、適切な避難体制づくりや、除雪体制の強化、避難所における暖房器具、燃料の備蓄、停電時の非常用電源等の整備を進めることとしております。

さらなる災害対策のため、冬期間の防災訓練等の実施内容や方法などを検討していきます。



質問
高校生の給食導入について

質問者

班 長 水落 桜子
副班長 四ツ屋明依

班 員 入谷 啓太
〃 石井 萌奈
〃 鹿又 拓矛
〃 小野 優唯

町長答弁

平成三十年十二月に羅臼高校生とその保護者向けにアンケートを実施し、給食に対して「あれば良い」七十%、「利用する」七十二%という回答がありました。令和元年度より幼稚園の給食を開始しています。現在、高校生の給食の提供は検討しておりません。

再質問答弁

全員の総意があれば検討していききたい。



Zoom up!

各常任委員会行政視察

経済・文教常任委員会

七月三十日、町内公共施設の現状について、幌萌町オートキャンプ場から相泊温泉までの観光施設十一カ所について視察を行った。

幌萌町オートキャンプ場

現在管理棟が閉鎖中でオートキャンプ場としての機能が充分活用されていない。

体験実習館

管理人一名で受付業務を担当しているのみで、施設の機能が充分図られていない。

国後展望塔からの遊歩道

草刈りも進められ整備されているが、案内看板も入り口には無く、熊対策も有



幌萌町オートキャンプ場

り利用しづらい。

望郷台町営キャンプ場

現在、進入禁止であった。

湯の沢国設キャンプ場

管理人も常駐し、多くのキャンパーで賑わっているが、駐車場の利用方法について検討が望まれる。

熊の湯温泉

愛好会により清掃管理が進められ、多くの入浴客が訪れている。

旧観光ホテル跡

観光地の入り口に有り、景観を損なっていることから、早急な対策が望まれる。

しおかぜ公園

老人クラブによる草刈ボランティアの活動により、整備が行き届いている。指定の避難所となっている。



湯の沢国設キャンプ場

るが、漁港からの階段については手すりが破損しており、早急な改善が望まれる。

ひかりごけ洞窟

現在、崩落の危険が有るとして鉄柵により立ち入り禁止となっている。

セセキ温泉

浴槽が二カ所有り、観光客で賑わっている。私有地の一部を通行する事から、観光客に対するPRが望まれる。

相泊温泉

毎年、時化により流出する相泊温泉は、観光シーズ

るが、漁港からの階段については手すり



しおかぜ公園

ンに向けてテント張りや男女別の浴槽を備えた温泉が整備され、観光客だけでなく、地元の漁師にも利用されている。

しかし、時化により利用期間が短くなることから、抜本的な施設作りが望まれる。

最後に、各公共施設は、羅臼町にとっては観光資源として利用価値の高い施設も多いことから、将来に亘る観光施設利用計画の策定を要望する。

委員長 加藤 勉
副委員長 鹿又 政義
委員 井上 章二
委員 高島 讓二
委員 佐藤 晶



相泊温泉

総務・民生常任委員会

八月二十六日当委員会は、町内視察を実施し、各現地で担当者の説明を受けました。

今回の視察は、町内にある防災備品備蓄場所の中から特に地域の中心となる知床未来中学校・農林漁業体験実習館・峯浜町福祉館の三ヶ所を視察しました。各施設には、地域住民の一刻にあたる人数が三日間を過ごせる分の非常食・飲料水等の防災備品を備蓄してい

ます。非常食・飲料水は賞味期限に注意しながら補充をしています。又、その他の防災備品は羅臼町防災計画に沿って設置していると説明を受けました。

峯浜町の最終処分建設予定地を視察しました。現在予定地の区画を測量しています。又、道路の拡幅工事中で今年度は三分の一を工事することとなります。現状の道路は狭く路面状態も悪く、改良が必要です。

最後に幌萌町の清掃センターを視察しました。経年劣化が進んでおり、特に缶

プレス機は補修をしなければならぬ状態です。

また、現在未使用の煙突の処分が必要です。高さも高いため撤去には多大な経費がかかりますが、対処しなければならぬと考えております。

委員長 田中 良
副委員長 坂本 志郎
委員 村山 修一
“ 松原 臣
“ 小野 哲也



知床未来中学校の備品庫



幌萌実習館内



最終処分場建設予定地

付託案件

- ・ 一般会計歳入歳出決算
- ・ 国民健康保険事業特別会計決算
- ・ 介護保険事業特別会計決算
- ・ 後期高齢者医療特別会計決算
- ・ 国民健康保険診療所特別会計決算
- ・ 水道事業会計決算



決算特別委員会

委員長 高島 讓二
委員 松原 臣
副委員長 村山 修一
委員 加藤 勉

各会計決算特別委員会の設置

九月十二日開催の第三回定例議会において、平成三十二年の羅臼町決算審査を行うため、各会計決算特別委員会の委員四名が選出されました。

議会の動き

8月

4日	議長杯パークゴルフ大会	議長
5日～8日	根室地方の地域づくり総合開発に関する要望・提言と意見交換会（札幌市・東京都）	議長
9日	経済文教常任委員会	5名
19日～22日	議会広報研修会及び2019地方議員向けサマースクール（札幌市）	議会だより編集委員会委員4名
24日～25日	札幌らうす会交流会（札幌市）	議長
26日	全員協議会	9名
26日	総務民生常任委員会	委員5名
27日	議会改革特別委員会	9名
28日	道議会北方領土対策特別委員会意見交換会（根室市）	議長

9月

3日	羅臼町議会議員OB会総会	
6日	議会運営委員会	
7日	陸上自衛隊標津分屯地創立62周年記念行事祝賀会（標津町）	議長
8日	敬老会・高齢者のつどい	9名
9日	経済文教常任委員会	委員5名
10日	総務民生常任委員会	委員5名
11日	議会運営委員会	
12日	令和元年第3回羅臼町定例町議会	
18日	議会改革特別委員会プロジェクト会議	4名
19日	議会だより編集委員会	4名
20日	議会運営委員会	
21日	漁火まつり開会式	副議長
27日	議会だより編集委員会	4名

10月

2日	平成30年度羅臼町各会計決算特別委員会（1回目）委員4名	
2日	衛藤内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）来根に伴う要望・懇談会（根室市）	議長
4日	町村議会議長総務大臣表彰式（東京都）	前議長
8日	平成30年度羅臼町各会計決算特別委員会（2回目）委員4名	
9日	平成30年度羅臼町各会計決算特別委員会（3回目）委員4名	
12日	根室町村議会議長会議員研修会（標津町）	7名
21日	高校生の1日議会	
24日	平成30年度羅臼町各会計決算特別委員会（4回目）委員4名	
31日	令和元年度根室林活議連協議会研修会（羅臼町）	

ね。

羅臼町も先の胆振東部地震ではブラックアウトを経験し、行政も災害対策を計画的に進めています。備蓄基準は住民の1割が三日間をしのげる分の量です。災害対策は、個人個人で最低限の準備が必要になります。まずは水、保存食、各ご家庭で備蓄基準を決める事が必要かも知れませぬ。

千葉県は、建物被害もさる事ながら、長期に及んだ停電・断水で大変お困りになった事と申します。心よりお見舞いを申し上げます。

胆振東部地震から一年余が過ぎました。次々と起こる台風等の自然災害、昔は「忘れた頃にやってくる」と言われていた災害ですが、近年は「忘れる前にやってくる」等と言う方が正しいのかもしれない。

**編集を
終えて**




町議会受賞式

羅臼町議会議長佐藤 晶氏が、北海道町村議会議長会より「自治功労賞」を受賞されました。

敬老会 第12回高齢者のつどい 余興で参加

9月12日、知床未来中学校で開催された羅臼町敬老会・第12回高齢者のつどいで、議員一同と町長・副町長・教育長による寸劇「詐欺防止・カード詐欺」を上演しました。

会場に集まった220名程の参加者から盛大な拍手を頂きました。

